

重点施策 13 地域文化団体の育成及び連携

【施策方針】

八幡浜市文化協会（加盟団体 41）を中心とした地域文化を支える文化・芸術団体の育成及び連携と地域文化事業の振興を図る。

【実施状況】

（1）主な施策・事業

- 地域文化団体の育成、地域文化事業の開催
- ① やわたはま芸能文化祭
- ② 保内芸能のつどい
- ③ 富澤赤黄男顕彰俳句大会
- ④ 保内文化のつどい

（2）主な施策・事業の実施状況

① やわたはま芸能文化祭

八幡浜市文化協会の中から、主として旧八幡浜市の芸能・文化団体の活動の発表会という位置付けのもと、文化の日に八幡浜市文化会館（ゆめみかん）で実施した。（有料）

② 保内芸能のつどい

前述の芸能文化祭と趣旨は同じで、八幡浜市文化協会に属する旧保内町の芸能、文化団体がその活動の成果として、八幡浜市文化会館（ゆめみかん）で発表会を実施した。（有料）

③ 富澤赤黄男顕彰俳句大会

郷土が生んだ偉大な俳人である富澤赤黄男を偲び、広く一般市民や周辺の市町の俳句愛好者から投句を募り、そのなかから優秀なものを選出し、表彰している。（富澤赤黄男顕彰俳句大会開催委託料 200 千円）大会の開催は、八幡浜俳句協会・八幡浜市教育委員会の共催で実施した。

④ 保内文化のつどい

八幡浜市文化協会の美術工芸部会に属する旧保内町の団体が、その活動の成果として八幡浜市文化会館と八幡浜市中央公民館保内別館で作品展等を実施した。（無料）

【事務事業点検評価委員意見】

- 芸能文化祭、俳句大会、文化のつどい等は、毎年参加することを楽しみにしている市民が多い。市民が楽しみながら、普段の美術、芸能、工芸等の活動を発表し、交流する場として活かされている。
- 富澤赤黄男顕彰俳句大会は、郷土出身の俳人名を付けている。学校、公民館等とも協力して、普段は俳句教室、俳句ポスト、広報俳句募集等、広く普及・啓発を図り、大会へ集結していくような運営をすれば、大会も盛り上がり、富澤赤黄男の名前も広がると思う。市内在住の俳句指導者もおられるので、協力していただけるのではないかと思います。
- 保内文化のつどいでは、市民の方々の多様、多彩な技をつくした作品展示がされてきた。また、「ゆめみかん」建設を機会に生まれた「ピアノリレーコンサート」も継続している。児童生徒は21年前に比べると大きく減少しており、開催日も市内イベントとの調整があり、変更もされてきたが、発足当初より参加者は増えている。「ゆめみかん」へ、多くの人々に訪れてもらって、施設のよさを感じて利用者となっていただきたいと思う。また、ゆめみかんのピアノ「スタインウェイ」は八幡浜市の音楽文化のステータスであり、市民の財産であることを知ってほしいと思う。文化を大切にする町として周辺市町へも広めてほしいと思う。

市民が文化活動に熱心であれば、すばらしい音楽家（著名人に限らず新進若手も含む）の来訪も増えると思う。

【自己評価】

- これまでの各文化団体のご尽力により、地域に文化・芸術活動が根付いており、今後も文化団体の活動を支援することで市の文化振興を図りたい。
- 富澤赤黄男俳句大会への応募は増加傾向にあるが、地元での俳句文化の醸成も重要である。学校や公民館活動との連携を図り、普及啓発に努めたい。
- ゆめみかんの世界屈指のピアノ「スタインウェイ」によるピアノリレーコンサートは、毎年たくさんの方に参加してもらっている。現在は参加資格を四国内まで広げているため、周辺市町からも参加していただいている。今後も市ホームページ等で広報していきたい。